

～祝 100 歳 未永くお元気で～

2人には福島県、田村市、田村市社会福祉協議会などから賀寿や記念品などが贈られました。

大山 トメ子さん



船引町北鹿又の大山トメ子さんが、5月15日に満百歳を迎えられました。トメ子さんは野球が好きで、テレビでの野球観戦を楽しみにしています。長寿の秘訣は、太陽の下でよく働き、よく食べることで、今も、大好きな甘いものをよく食べるそうです。

吉田 ミドリさん



都路町古道の吉田ミドリさんが、4月25日に満百歳を迎えられました。ミドリさんの楽しみは週末に子や孫が会いに来ること、春になったら野菜を作ることと話していました。長寿の秘訣は、楽しみを持つことと体を動かすことだそうです。



昆虫先生ムネリンの たむら昆虫図鑑 No.8

ナミゲンゴロウ

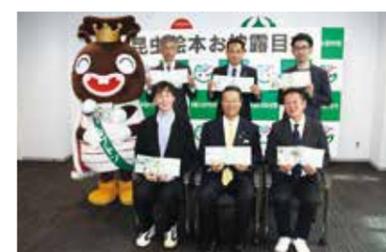


水生植物が豊富な水辺に生息する。泳ぎが非常にうまく、卵型のかわいらしい見た目に反し、肉食で小魚をすぐに骨にする。現在、生息環境破壊で数が減少し大変貴重であるため、捕獲・観察後は、逃がしてあげよう。



大火災の記憶を忘れずに 大火防火パレード

4月17日、市消防団常葉地区隊と田村消防署の車両で、常葉町の市街地を中心に「常葉町大火防火パレード」を実施しました。昭和31年4月17日に常葉町の市街地を襲った大火の記憶を風化させないよう、毎年同日に防火パレードを行っているものです。大火災の記憶を忘れぬよう、地域一丸となって防火の誓いを新たにしました。



昆虫絵本お披露目式

4月16日、市の昆虫事業を広く知っていただくため「昆虫絵本お披露目式」を開催しました。昆虫事業の有識者や昆虫を使って仕事をしている方々、常葉小学校の児童などからインタビューした内容を一冊の絵本にまとめました。出演者は、京都芸術大学マンガ学科監修のもと、仮想昆虫としてイラストで表現され、田村市や昆虫の未来について語り合いました。昆虫をめぐる文化や活かな議論を通して、地域社会にある課題の解決を目指します。



地域おこし協力隊・復興支援員・集落支援員委嘱

4月15日、市役所で、田村市地域おこし協力隊・復興支援員・集落支援員合同委嘱状交付式を行いました。6年度は、地域おこし協力隊14人、復興支援員6人、集落支援員2人で活動をスタートします。委嘱状交付後に、各隊員がそれぞれの活動内容の発表を行いました。市長は各隊員に向け、新たな目線による地域資源の掘り起こし等を行い、地域の課題解決に向け活躍してほしいと期待を寄せました。

瑞宝双光章



こんない 根内 千代子さん(61、都路町) 元特別養護老人ホームあぶくま荘 主任介護員

「この仕事に出会えたことに感謝したい」と介護職への思いを語ります。1993(平成5)年に田村福祉会の特養施設の介護員となり、約30年勤務してきました。「仕事は楽しく、利用者に笑いを」をモットーに、施設利用者に寄り添ってきました。「関わってきた方々が施設で楽しい日々を過ごしていると思ってくれたらうれしい」と笑みを浮かべました。

瑞宝双光章



橋本 利重さん(72、都路町) 元陸自東部方面航空隊東部方面ヘリコプター隊副隊長

「上司や同僚、家族に支えてもらった」と笑顔で話します。1970(昭和45)年に入隊し、主に航空操縦士として活躍。第12旅団第12ヘリコプター隊第1飛行隊の立ち上げに尽力し、初代飛行隊長を務めました。多用途ヘリ「UH60JA」を配備する際は準備段階から携わりました。「創造・挑戦が合言葉だった」と懐かしみまします。

春の叙勲 たゆまぬ努力の結晶

さまざまな分野で功績を残した人に贈られる6年春の叙勲が4月29日、発表されました。田村市からは2人が受章しました。2人に喜びの一言をお聞きしました。



文化講演会 日本とチベット 異文化を超えて

5月11日、市文化センターで田村市文化協会の文化講演会が開かれました。チベット出身の歌手で、講演活動や教育支援を続けているバイマヤンジンさんが講師を務めました。講師は「異文化は鏡のようなもの。相手を知ること、自分のことも改めて分かってきました」と話し、国境を越えて活動する豊富な経験をもとにした、文化の違いや生活の苦勞、幸せのあり方などを紹介。講演の間には、アカペラでチベット民謡を披露するなど、会場は終始、温かい雰囲気包まれていました。



春のおはなし会

4月27日、市図書館で「春のおはなし会」が開催され、親子14人が参加しました。おはなし会どんぐりによる、絵本や手遊び、テーブルシアターなどの春にちなんだプログラムを楽しみました。最後に、おりがみで作ったかわいいチューリップのプレゼントをもらった子どもたちはみんな笑顔になりました。



元気に泳ぐ、こいのぼり

4月25日、常葉保育所でこいのぼり掲揚式が行われました。式では市長があいさつした後、代表の3歳児の小林朝陽ちゃんと3歳児の佐藤陽莉ちゃんに記念品がプレゼントされました。童謡「こいのぼり」の音楽に合わせて、市長と常葉保育所の園児がロープを引き上げると、大小のこいのぼりが春風を受けて大空に泳ぎました。子どもたちからは歓声があがり、中庭に元気な声を響かせ、笑顔があふれていました。